

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)引当金の計上基準について

・退職給付引当金

事務局役職員の退職給付に備えるため、特定退職金共済制度を採用しています。

期末に要支給額と年金資金を調べて必要であれば掛け金を調整していますので、該当引当金は計上しておりません。

(2)消費税等の会計処理

消費税込み額で表示している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
周年事業引当資産	4,000,000	0	0	4,000,000
広告塔引当資産	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000

3. 担保に供している資産

特になし

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	118,277	0	118,277
合計	118,277	0	118,277

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
受取県連補助金	(一社) 福岡県法人会連合会	0	1,048,749	1,048,749	0	
全法連補助金	(公財) 全国法人会総連合	0	232,000	232,000	0	
助成金						
受取全法連助成金	(公財) 全国法人会総連合	0	19,543,300	19,543,300	0	
合計		0	20,824,049	20,824,049	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	19,393,300
公益目的達成による指定解除金額	
合計	19,393,300

7. 重要な後発事象

特になし

8. その他

(1)正味財産増減計算書の「会員親睦事業収益」の内訳

(単位：円)

科 目	金 額
本部事業収益	272,000
支部事業収益	322,000
青年部会事業収益	602,000
女性部会事業収益	199,000
合計	1,395,000

(2)正味財産増減計算書の「受取負担金」の内訳

(単位：円)

科 目	金 額
青年部会受取負担金	1,065,000
女性部会受取負担金	138,000
合計	1,203,000